

AutoCADと一体型データ変換ソフト **ACD2DRV(C)** Raster出力(KDdriver出力対応) **ACD3DRV(C)**



Kernel Computer System
カーネルコンピュータシステム株式会社

本社：パッケージ販売部
〒221-0056
横浜市神奈川区金港町 6-3 横浜金港町ビル
TEL：045-442-0500 FAX：045-442-0501
URL：<http://www.kernelcomputer.co.jp>

AutoCAD を利用した変換ソフト【AutoCAD 2012 まで対応】

特長

1. AutoCAD (標準版) を利用して、AutoCAD データ (DXF, DWG) をラスターに変換します。AutoCAD (標準版) から弊社プリンタドライバ **KDdriver_long for Windows** に直接印刷することで、精度の高い変換結果が得られます。
2. モデル空間、ペーパー空間共に変換可能です。
3. AutoCAD データに貼り付けられたイメージデータや OFFICE 等の OLE データもそのまま変換可能です。
4. 出力フォーマットがマルチページに対応している場合は、シングルページとマルチページの選択が可能です。
5. 元の図面サイズを反映して変換できます。この場合は、図面にページ設定をしておく必要があります。
6. ダイアログアプリケーション (GUI) としてもバッチアプリケーション (CUI) としてもご利用できます。
7. バッチ変換による連続実行が可能です。
8. ご使用になる AutoCAD に SXF データトランスレータが組み込まれていることで、SXF データの変換も可能です。
9. 変換時に、図面のスタイルに設定されているフォントがサポートファイルに存在するかチェックを行えます。
10. 標準版以外の AutoCAD 製品 (AutoCAD Mechanical 等) が同時にインストールされている共存環境での動作も確認できております。(標準版を利用した動作のみの確認となっています。)
11. レイヤーの表示・非表示を設定することが可能です。
12. A 系列以外のカスタム用紙サイズ名を変換時に指定することが可能です。
13. ACD2DRV, ACD2DRVC, ACD3DRV, ACD3DRVC は、それぞれ ACD2RS, ACD2RSC, ACD3RS, ACD3RSC の上位製品であり、各製品の機能が使用可能です。

主な編集機能

- (1) シングルページ/マルチページ変換、縮尺/回転/原点移動
- (2) モノクロ/カラー変換
- (3) 長尺変換

注意事項

本アプリケーションを使用するには Autodesk 社製品の AutoCAD (標準版) が必要です。
AutoCAD Mechanical 版には対応していませんが、AutoCAD Mechanical をインストールする際に同時にインストールされる標準の AutoCAD を使用しての変換は可能です。

対応 AutoCAD

AutoCAD 2012, AutoCAD 2011, AutoCAD 2010, AutoCAD 2009, AutoCAD 2008, AutoCAD 2007, AutoCAD 2006, AutoCAD 2005, AutoCAD 2004, AutoCAD 2002, AutoCAD 2000i

対応 OS

Windows 7 / Windows Vista / Windows XP / Windows 2000

標準価格

- | | |
|---------------------------------------------------|---------------|
| (1) AutoCAD / Raster (2 値) 変換 (ACD2DRV) | : 45 万円 (税抜き) |
| (2) AutoCAD / Raster (2 値/カラー) 変換 (ACD2DRVC) | : 50 万円 (税抜き) |
| (3) AutoCAD / Raster (2 値) 変換 (長尺) (ACD3DRV) | : 55 万円 (税抜き) |
| (4) AutoCAD / Raster (2 値/カラー) 変換 (長尺) (ACD3DRVC) | : 60 万円 (税抜き) |

基本画面

◆ ファイル設定

入力ファイル名
出力ファイル名
ログファイル名
XML ログファイル名

参照ボタン(ファイルダイアログで指定)

出力用紙サイズ毎に格納先選択
変換結果を用紙サイズ毎にディレクトリに振り分けることが可能です。

acd

ファイル設定 | ドライバ設定 | 出力設定 |

ファイル設定
入力ファイル名: C:\Program Files\KDCconvert\Drawing1.dwg
ファイル出力
出力ファイル名: C:\Program Files\KDCconvert\Drawing1.tif
 ファイル選択
 フォルダ選択
ログファイル名: C:\Program Files\KDCconvert\Drawing1.log
XMLログファイル名: C:\Program Files\KDCconvert\Drawing1.xml

変換設定
長尺設定

出力用紙サイズ毎の格納先

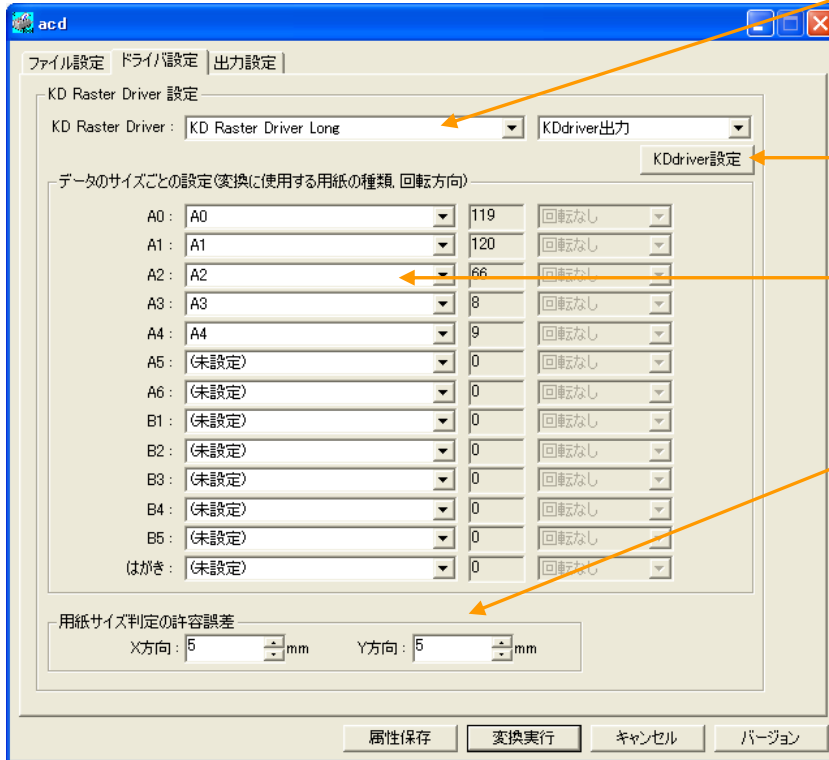
A0:	C:\Program Files\KDCconvert\outA0
A1:	C:\Program Files\KDCconvert\outA1
A2:	C:\Program Files\KDCconvert\outA2
A3:	C:\Program Files\KDCconvert\outA3
A4:	C:\Program Files\KDCconvert\outA4
A5:	
A6:	
A0L:	
A1L:	
A2L:	
A3L:	
A4L:	
B1:	
B2:	
B3:	
B4:	
B5:	

出力用紙サイズ毎の格納先選択
「格納先選択」ボタンを押すと右のダイアログが表示されます。
用紙サイズ毎の格納先のディレクトリを選択します。参照ボタンからの指定も可能です。

属性保存 変換実行 キャンセル パージ

OK キャンセル

◆ ドライバ設定



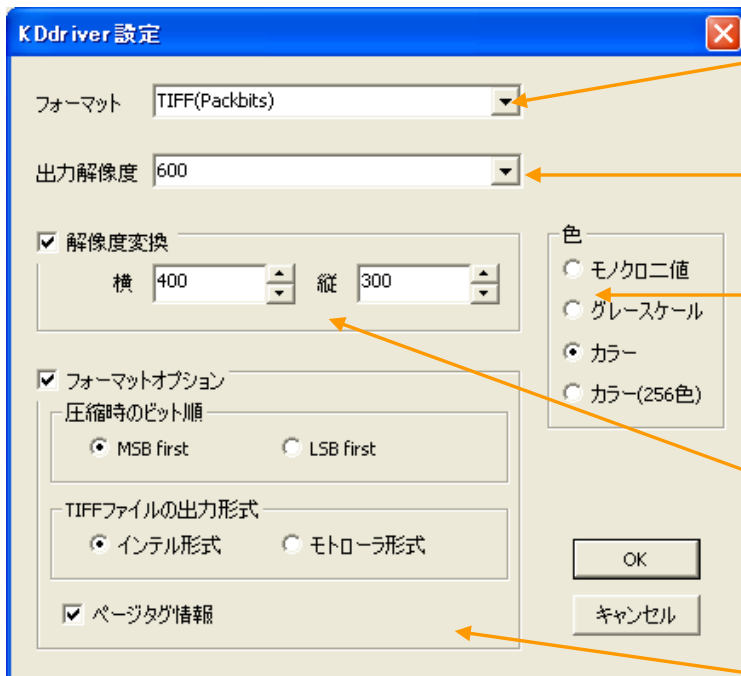
KD Raster ドライバ名
KD Raster ドライバを選択します。

KDdriver 設定ボタン
KDdriver の印刷設定を変更します。

用紙
データの用紙サイズごとに、実際に印刷に使用する用紙を指定します。

用紙サイズ判定の許容誤差
用紙サイズを判定する際の許容誤差を設定します。

◆ KDdriver 設定



出力フォーマット
出力フォーマットを指定します。ACD2DRVC, ACD3DRVC のみ、カラーフォーマットが選択可能です。

出力解像度
印刷解像度を指定します。

色
出力するラスターデータの色を設定します。ACD2DRVC, ACD3DRVC のみ、設定可能です。

解像度変換
[出力解像度]で印刷されたラスターデータの解像度を変換します。横・縦それぞれの方向に任意の値が指定可能です。

フォーマットオプション
出力するフォーマットに関する設定を変更します。

◆ 出力設定

The screenshot shows the '出力設定' (Output Settings) dialog box. It is divided into several sections: '出力対象空間' (Output Target Space) with radio buttons for 'モデル空間' (Model Space) and 'ペーパー空間' (Paper Space); '印刷領域' (Print Area) with radio buttons for '図面範囲' (Drawing Area), '窓' (Window), and 'オブジェクト範囲' (Object Range); '印刷オフセット' (Print Offset) with a checked '印刷の中心' (Center of Print); '印刷尺度' (Print Scale) with 'カスタム' (Custom) set to 0.00 and '設定単位' (Setting Unit) set to 0.00 '作図単位' (Drawing Unit); 'レイヤー表示非表示設定' (Layer Visibility Settings) with a checked 'レイヤー表示ファイル名' (Layer Visibility File Name) set to 'C:\Program Files\KDconvert\layer.txt'; '「窓」設定' (Window Settings) with '窓座標ファイル名' (Window Coordinate File Name) and 'インデックス桁数' (Index Digits) set to 1; and 'レイアウト毎の座標設定' (Coordinate Settings for Each Layout) with '左下' (Bottom Left) and '右上' (Top Right) coordinates set to X: 0.00, Y: 0.00. At the bottom, there are buttons for '保存' (Save), 'クリア' (Clear), '属性保存' (Save Properties), '変換実行' (Execute Conversion), 'キャンセル' (Cancel), and 'バージョン' (Version).

出力対象空間指定
変換対象をモデル空間とするか、ペーパー空間とするかを指定します。

印刷領域指定
印刷領域に「図面範囲」、「窓」、「オブジェクト範囲」のいずれかを指定します。

印刷オフセット
印刷オフセットの「印刷の中心」を指定します。デフォルトで指定されています。

印刷尺度
印刷尺度を設定します。元データに設定されている印刷尺度の使用も可能です。

レイヤー表示非表示設定
レイヤーの表示非表示を設定したテキストファイルを指定します。

窓設定
各レイアウトに最大 8 個の窓が指定できます。

制限事項

- ◆ モデル空間とペーパー空間のページ設定で用紙サイズを選択(ページ設定)してください。
- ◆ 変換中に AutoCAD 画面が表示されますが、**オペレーティングを行わないでください**。
正常に変換が行われない場合があります。
もし、オペレーティングを行い AutoCAD が終了されなかった場合、特に問題はありませんが
手動で AutoCAD を終了させてください。また、**非表示の状態ではまっている場合**もありますので、
その場合は**タスクマネージャから AutoCAD を終了**してください。
- ◆ **AutoCAD の LT 版では動作しません**。
- ◆ パラメータは大文字、小文字どちらでも指定できますが、全角文字は使えません。
また、パラメータとファイル名、ドライバ名等の間に空白を入れないでください。
- ◆ 「窓」の範囲はレイアウトごとに指定可能です。レイアウト 1 つにつき最大 8 件まで指定できます。
- ◆ サービス上での動作には対応していません。
- ◆ AutoCAD 上でカラー表示される図面をモノクロフォーマットに変換する場合に、カラーの部分が印刷結果に反映されないことがあります。そのような場合は、印刷時の色をモノクロに制御するように設定された印刷スタイルテーブル(Monochrome.ctb など)を使用することで解決することがあります。